

施  
工  
手  
順

1. 作業前の確認

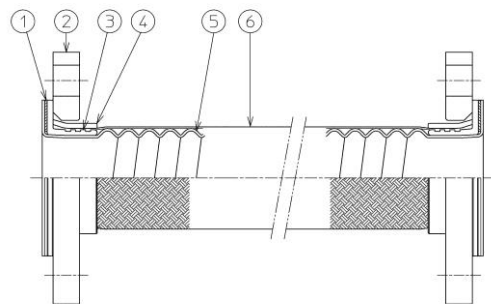


表1 部品表

品番	部品名	材質
1	ガスケット	ノンアスベスト
2	フランジ	SUS304
3	スリーブ	SUS304
4	プレスカバー	SUS304
5	チューブ	PTFE
6	ブレード	SUS304

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか
- 傷やへこみがないか

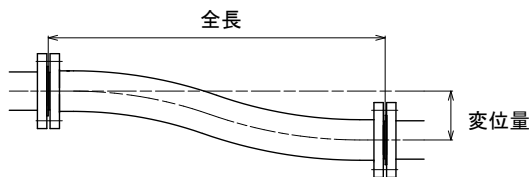
2. 配管への取り付け

① 製品取り付け前に、製品側及び配管側のシール面に付着している異物を完全に除去した上で、配管フランジ間にセットして下さい。

※ 本製品は、チューブ(フッ素樹脂)の折り返しによりシール面を形成しておりますのでガスケット無しでもシールすることはできますが、配管側シール面の傷等により製品側シール面が損傷する懸念がある場合は、別途ガスケットを用意し、使用することを推奨致します。

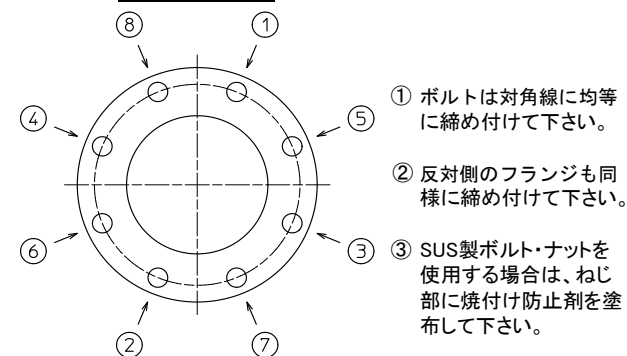
② 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。

③ 実際の配管変位が許容変位量内であることを確認して下さい。



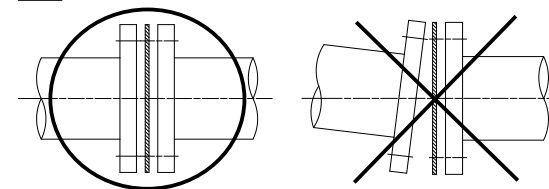
3. ボルトの締め付け

ボルト締め付け順

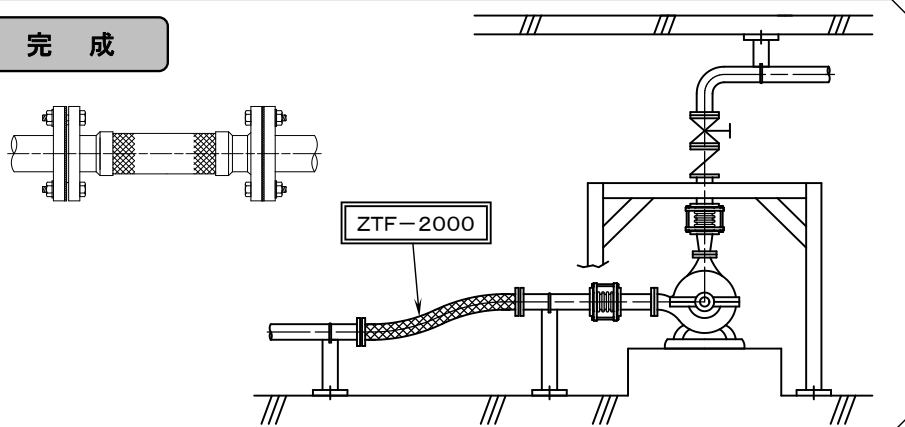


- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。



完成



⚠ 注意事項

- 1) ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 2) 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 3) 管内流速(内径基準)が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- 4) ポンプ廻りの配管については、防振継手であるZTF-5000をご使用願います。